



足助中央商店街協同組合 第Ⅲ期 商店街活性化計画

Index

- | | |
|---|-------|
| 1. 第Ⅰ・Ⅱ期（平成20～22・23～25年度）商店街活性化計画の取組み状況
(1)第Ⅰ・Ⅱ期 商店街活性化計画の事業の実施状況および成果と課題
(2)第Ⅰ・Ⅱ期 商店街活性化計画の目標の達成状況 | P.1～2 |
| 2. 足助中央商店街(協)の課題・問題点の整理
(1)課題・問題点の整理
(2)課題・問題点のまとめと第Ⅲ期商店街活性化計画に向けたキーワード | P.3～4 |
| 3. 第Ⅲ期 商店街活性化計画 基本方針
(1)基本方針
(2)数値目標 | P.5 |
| 4. 第Ⅲ期 商店街活性化計画 事業一覧 | P.6 |
| 5. 第Ⅲ期 商店街活性化計画 推進体制 | P.7 |
| 6. 会議記録（第Ⅲ期商店街活性化計画づくり） | P.8 |



1. 第Ⅰ・Ⅱ期（平成20～22・23～25年度）商店街活性化計画の取組み状況

(1)第Ⅰ・Ⅱ期商店街活性化計画の事業の実施状況および成果と課題

※実施状況（○：実施済み・継続事業 △：検討中・変更実施 ×：未実施）の3段階で表記。

1. 第Ⅰ期商店街活性化計画の事業の実施状況および成果と課題

N O	事業 状態	事業名	内容	実施 状況	事業の成果・課題
1	新規	空き店舗活用	・空き店舗調査、必要業種の検討 ・活用プラン構築 ・具体的な活用、実施	△	空き店舗・空家の調査済み、数店と交渉したが、活用事業に至らず。
2	新規	あすけぬくもりコレクションの育成（一店逸品運動）	『あすけぬくもりコレクション』現在20軒を拡充	△	定期的に会議や勉強会を実施したが、当初参加店20店舗の維持に留まった。
3	新規	塩の道づれ（市の開催）	・塩の交流 ・地産地消による周辺住民との交流 ・月1回、市を開催	○	●現在「中馬なごやか市」に名称変更し、開催中。 ●地元農家による農作物の直売や、豊田市シルバー人材センターの出店、商店街によるふるまい、地産地消、周辺住民との交流が図れた。 ・1年間続けてきて、市が定着しつつある。 ・開催に合わせた商店街の取組みと商店街への波及が課題。
4	継続	ポイントカード推進事業	・加盟店の拡大 ・端末機の更新の検討 ・顧客管理可能なシステムの導入を検討	△	顧客管理可能等消費者のニーズに合ったシステムへの移行や事業拡大を今後検討したい。
5	継続	既存イベントの活用	・既存イベントを活用した個店の販売促進活動支援（夏まつり、年末売出し、中馬びななど）	○	既存イベントの活用は現在も継続中。四季に合わせてイベントが開催されており、客足が増えつつある。
6	新規	商業に関する調査事業	・消費者ニーズ等調査によるPDCAサイクルの確立	○	商業に関する調査事業は足助商工まつりでアンケートを実施。毎年、11月に歩行者通行量調査を実施。
7	新規	利便性向上のための勉強会開催	・営業時間20時まで延長等利便性向上の検討	△	利便性向上のための勉強会を意欲的に開催したが、営業時間の延長には至らなかった。
8	新規	商店街組織強化事業	・発展会の法人化、統合による効率的な事業推進 ・事務局の強化	○	商店街組織強化については、各発展会をまとめ、足助中央商店街協同組合を設立し、活動中。
9	新規	商店街環境事業の研究、検討	・観光案内を兼ねた誘導看板設置の検討 ・街路灯、駐車場リニューアルの検討 ・景観にふさわしい意匠の店頭看板設置の検討	△	環境整備は、今年度スタートした下水道整備、電線類地中化工事等豊田市の進捗を見ながら検討する。

2. 第Ⅱ期商店街活性化計画の事業の実施状況および成果と課題

N O	事業 状態	事業名	内容	実施 状況	事業の成果・課題
1	継続 (強化事業)	空き店舗対策事業（足助商工会連携）	・足助商工会と連携、空き店舗（家）の活用等の検討 ・足助地区商業配置計画に基づく業種やテナント導入の検討 H24:対象空き店舗(家)、入居者検討選定 H25:実験店舗開店	△	足助地区のインフラ整備（下水など）の影響もあり、対象とする空き店舗の選定ができなかった。第3期は、空き店舗対策における商工会と商店街の役割を明確にし、連携して取り組むことを協議した。
2	継続 (強化事業)	ポイントカード推進事業	現もみじカード組織とカード事業の現状を把握し、再構築を図る H23:現状の検証 H24:事業の再構築、事業費試算 H25:実施	△	定期的に会議や勉強会を実施。事業を拡大、強化するまでには至らず。
3	継続 (強化事業)	中馬なごやか市事業	・毎月第3日曜日に市を開催 ・地元と観光客を意識した展開を検討 ・商店街への波及方法を検討 H23～ 見直し→修正実施	○	定期開催により、地元住民に定着。来場者も増加している。
4	継続 (見直し事業)	あすけぬくもりコレクションへの協力（一店逸品運動）	あすけぬくもりコレクションの活動内容に沿った協力、支援 H23～ 継続実施	×	事業は、継続して協力している。
5	継続 (見直し事業)	研修会	商業者ニーズにあった研修会を開催する H23～ 年数回の開催	○	おかみさん会を足助のガイド役として勉強会を実施。
6	継続 (見直し事業)	商業に関する調査事業	調査等によるPDCAサイクルの確立 H23～毎年11月歩行者通行量調査 H25:消費者ニーズ調査、商店街店主調査を3年に1回実施	○	スタンプラリーの応募用紙にてアンケートを実施。消費者ニーズを把握し、事業の内容を検討している。
7	新規	重伝建を見据えた個店のゆるやかな業種転換事業	・1店舗2業種の展開等、本業以外の業種の展開と個店の魅力化を図る ・店舗の売場面積の一部を貸出す「一坪ショップ」で商店街の魅力化を図る H23～ 3年で1店舗の実施	×	インフラ整備も完了しつつあり、各組合員が個店の魅力化や業種転換の必要性を感じ始めている。
8	新規 (商業活性化推進交付金事業より移行)	集客イベント事業	・足助商工会と連携したイベントを開催 ・回遊や客数・売上に結びつく販促 ・リピーター客獲得を目指す H23～ 見直し→修正実施	○	香嵐溪から商店街への誘客施策としてスタンプラリーを毎年実施。リピーターもあり、商店街ファンづくりに効果があった。
9	新規	(仮) おかみさんPR隊	女性客の取込みを目指し、積極的なPR活動を行う H23～ 必要に応じて活動	○	おかみさん会を立ち上げ、古い町並みのガイド役として展開。次期へ継続。
10	新規	店舗ガイドブック発行事業	足助ならではのお店のサービス紹介 H23:掲載内容の検討 H25:MAP発行	△	商店街MAPを新規制作。商店街観光を意識した内容で、商店街PRツールとして今後も有効利用予定。
11	新規	商店街エリアの拡大検討事業	宮町、松栄町一帯への拡大を検討する H23～ 拡大検討、加入調整	△	商店街エリア内にエリア外の店舗が2号店として新規出店。

1. 第Ⅰ・Ⅱ期（平成20～22・23～25年度）商店街活性化計画の取組み状況

(2)第Ⅰ・Ⅱ期商店街活性化計画の目標の達成状況

1. 第Ⅰ期商店街活性化計画の目標の達成状況

目標内容	指標・目標数値	達成状況（平成22年度）
①足助地区商業の魅力向上	営業店舗10店舗増加	23店舗の増加 商店街組合員数（営業店舗数） H19年度103店舗 → H22年度126店舗
	空き店舗10店舗解消	3店舗解消
	小売販売額2%増加	小売販売額2%減少 H16年543,879万円 → H20年533,553万円 [資料:とよたの商業/豊田市]
②観光資源や街並みを活用した回遊性の向上	歩行者通行量の増加	平常時7.7%減少/繁忙期7.5%増加 3地点（足助商工会/郵便局/J Aあいち）の歩行者通行量 [資料:歩行者通行量調査/足助商工会]
	・平常時10%増加 ・繁忙期20%増加	・平常時（香嵐溪紅葉シーズンピーク前後の平日）H21年 3,130人 → H22年 2,888人 ・繁忙期（香嵐溪紅葉シーズンピーク休日） H21年 5,636人 → H22年 6,061人
③足助地区の日常の買い物への対応向上	小売吸引力0.51（H16年現在）を0.01引上げ	地元購買率が減少 〈参考〉 買回品購買率 H11年8.6% → H21年2.7% [資料:消費者購買動向調査/愛知県]

第Ⅰ期は、足助中央商店街(協)の設立により組合員が23店舗増加し、組織強化できたことが大きな成果となった。

2. 第Ⅱ期商店街活性化計画目標の達成状況

目標内容	指標・目標数値	達成状況（平成25年度）
①足助地区商業の魅力向上	空き店舗1店舗解消	空き店舗33店舗 /現状維持となった。
②観光資源や街並みを活用した回遊性の向上	歩行者通行量の2.3%増加	126.5% /大きく増加する結果となった。
	H22年 6,061人 ↓ H25年 7,669人	調査地点：3地点（足助商工会/郵便局/J Aあいち）の歩行者通行量 調査時期：繁忙期（香嵐溪紅葉シーズンピーク休日） 対比日：H22年11月21日（日）[晴れ] とH25年11月24日（日）[晴れ] の比較 [資料:歩行者通行量調査/足助商工会・足助中央商店街（協）]

第Ⅱ期は、香嵐溪への観光客数は減少傾向にあるものの、商店街内の**歩行者通行量は増加**しており、それぞれの事業の効果、特にスタンプラリーでの誘客効果があらわれる結果となった。

2. 足助中央商店街(協) の課題・問題点の整理

(1)課題・問題点の整理

①足助は、“香嵐溪観光”が“地域”と“商店街”に深く関係しており、香嵐溪観光客数の減少の影響は大きい。

足助地域では、人口減少と高齢化が進んでいる。

高齢化率（65歳以上の構成）

H22	32.0%	(豊田市16.5%)
H23	33.0%	(豊田市17.7%)
H24	34.1%	(豊田市18.8%)
H25	35.4%	(豊田市19.9%)

※H25後期高齢者の割合

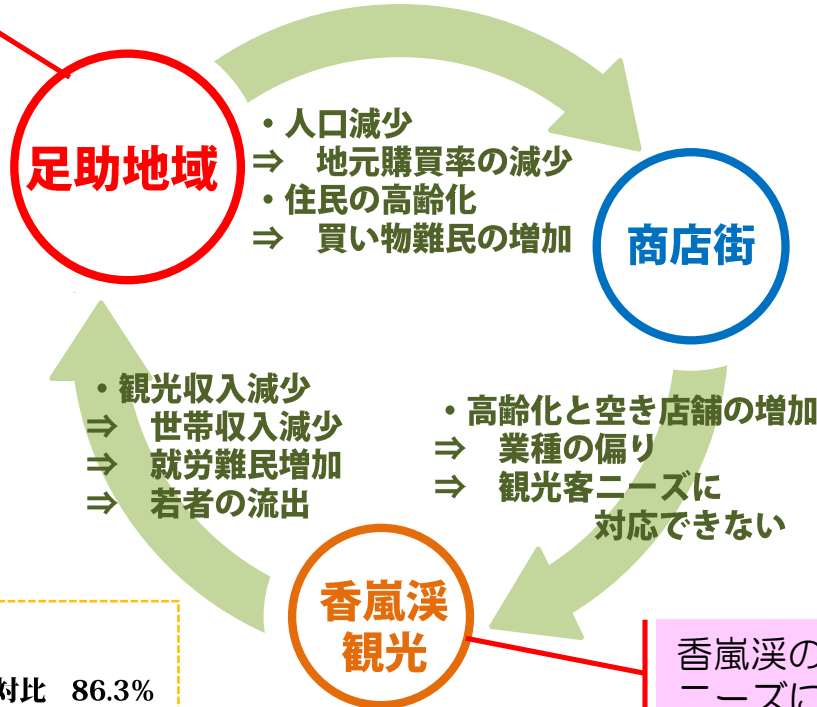
65-74歳	13.6%	(豊田市11.8%)
75歳～	21.8%	(豊田市8.1%)

人口と世帯数

H2	10,700人	2,671世帯
H22	8,966人	2,871世帯
H23	8,842人	2,881世帯
H24	8,713人	2,888世帯
H25	8,631人	2,898世帯

香嵐溪観光客数

H18	1,299,268人		
H22	1,121,029人	H18対比	86.3%
H23	1,036,990人	H18対比	79.8%
H24	903,717人	H18対比	69.6%



組合員数・通行量は増加傾向

組合員数	H20	103店舗
	H22	126店舗
	H25	128店舗
通行量	H25/H22対比	126.5%

組合員の業種構成（H25.10月時点）

小売業	57店	44.5%
飲食業	15店	11.7%
サービス業	26店	20.3%
建設・製造業	13店	10.2%
事業所・その他	17店	13.3%

組合員の高齢化と将来的な減少（H22調査）

60歳以上の組合員	63%
廃業予定・後継者がいない	53%
⇒ 将来的な空き店舗の増加	
⇒ 組織の弱体化（予算減・人員減）	
⇒ 事業の未推進	

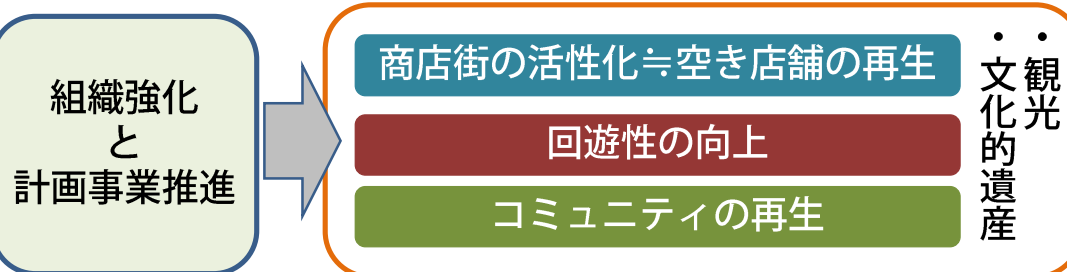
香嵐溪の観光客数は減少傾向であり、観光ニーズに合わせた新たな施策が必要。

計画事業の効果で、商店街の組合員数と通行量は増加傾向だが、組合員の高齢化による減少と空き店舗の増加が予想される。

②第Ⅱ期は、日常客から香嵐溪観光客にターゲットの比重を変更したが、香嵐溪の観光客数は減少傾向にあり、香嵐溪からの誘客に限界がある。

第Ⅰ期 商店街活性化計画のポイント

“江戸から昭和までの時代” “四季”を感じるまちの中で、本物売る商店街を目指します。



《計画事業におけるターゲットの相関》

日常客の対応



香嵐溪観光客の誘客

第Ⅱ期 商店街活性化計画のポイント

“江戸から昭和の時代” “四季折々”を、お客様に感じていただける商店街を目指します。



《計画事業におけるターゲットの相関》

日常客の対応



香嵐溪観光客の誘客

2. 足助中央商店街(協) の課題・問題点の整理

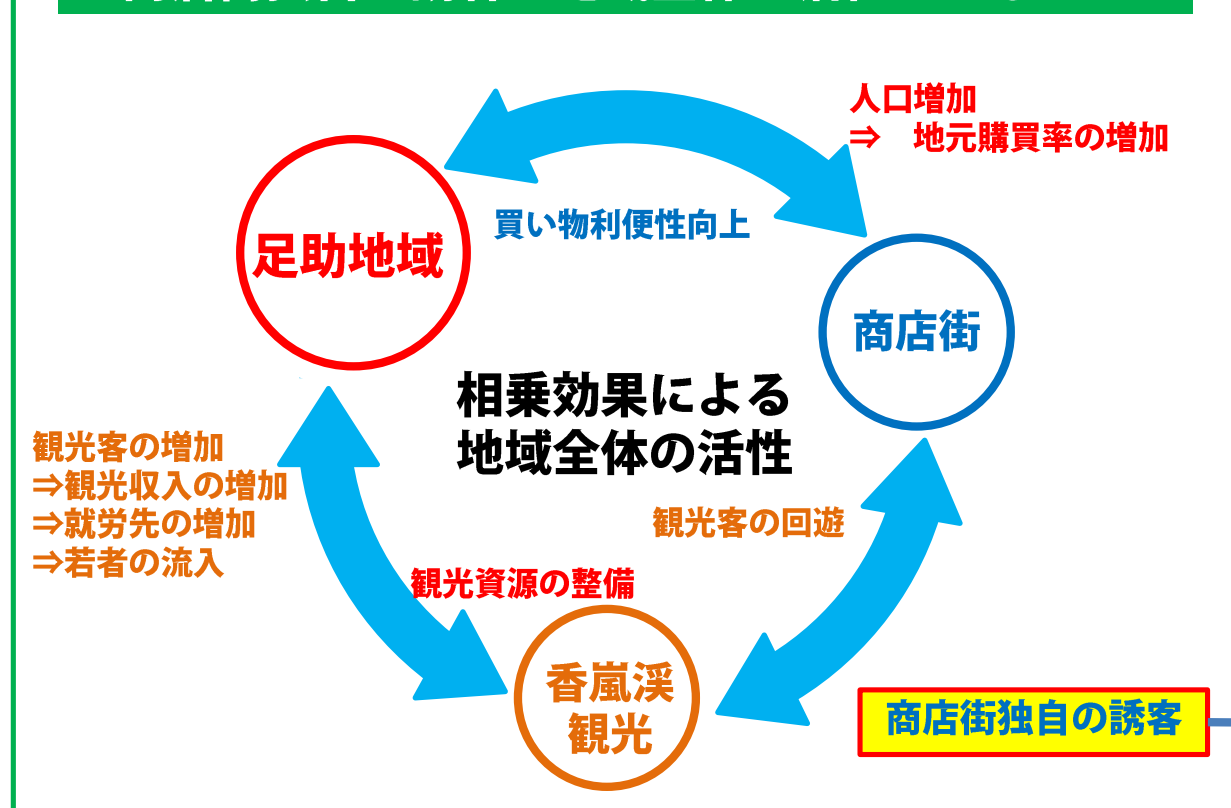
(2) 課題・問題点のまとめと第Ⅲ期商店街活性化計画に向けたキーワード

第Ⅰ・Ⅱ期は、香嵐溪の観光客を商店街に回遊させる事業の効果により、商店街内の通行量は増加傾向となった。しかし、年々、香嵐溪の観光客は減少しており、将来的には香嵐溪から商店街への回遊客の減少が予想される。香嵐溪の観光客の減少を商店街を含む足助地域全体の問題として捉え、香嵐溪の観光と地域全体の活性を目指す役割が商店街として重要となってきた。また、人口減少や住民の高齢化など、日常客の対応も大きく変化しているため、商店街活性化計画の方針の見直しが必要となっている。

- ① 香嵐溪の観光客の減少は足助地域全体の問題
- ② 日常客の対応も大きく変化

商店街の役割の変化と活性化計画の方針の見直し

商店街独自の誘客が地域全体の活性につながる



商店街独自の誘客

商店街の強みを活かす

足助の古い町並み

- ・ 重要伝統的建造物群保存地区
- ・ 町並みのインフラ整備完了

足助の古い町並みを活かした事業の推進

3. 第Ⅲ期 商店街活性化計画 基本方針

(1)基本方針

コンセプト

“江戸から昭和の時代” “四季折々”を、お客様に感じていただける商店街を目指します。

方針

①足助の古い町並み（重要伝統的建造物群保存地区）を活かした事業の推進 ※足助観光協会と連携

例) 足助の古い町並みを活かした“地域ブランドの開発考案”による、商店街（町並み）独自の観光化と誘客など

理由>>香嵐溪観光客の減少⇨商店街および地区の衰退に歯止めをかける+αの誘客で地域全体を活性化する。

②空き店舗対策事業の推進 ※足助商工会と連携

理由>>空き店舗の増加⇨商店街の魅力の低下を防ぐ。

③地域を支える商店街事業の推進 ※足助商工会と連携

例) 買い物支援サービスなど

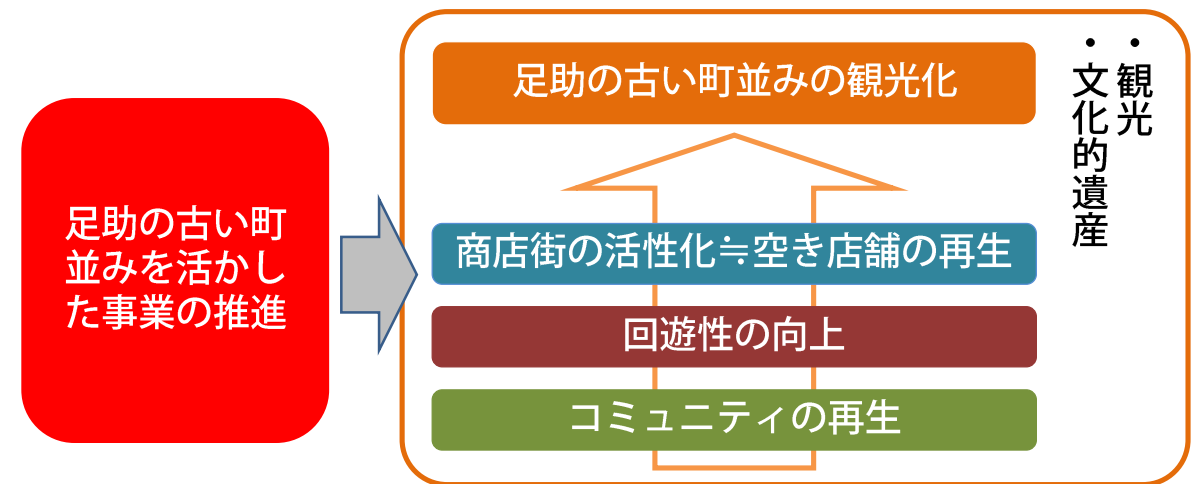
理由>>人口減少や高齢化に対応した商店街としての役割を担う。

④第Ⅰ・Ⅱ期事業の見直しと効果の高い事業の推進

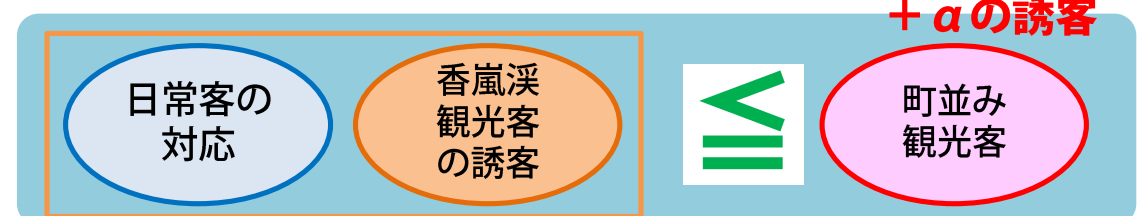
理由>>組合員の高齢化と減少、事業予算、推進体制。

第Ⅲ期 商店街活性化計画のポイント

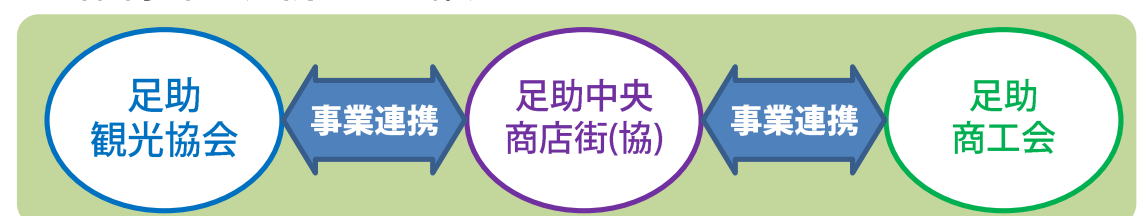
“江戸から昭和の時代” “四季折々”を、お客様に感じていただける商店街を目指します。



《計画事業におけるターゲットの相関》



《計画事業の連携による推進》



(2)数値目標

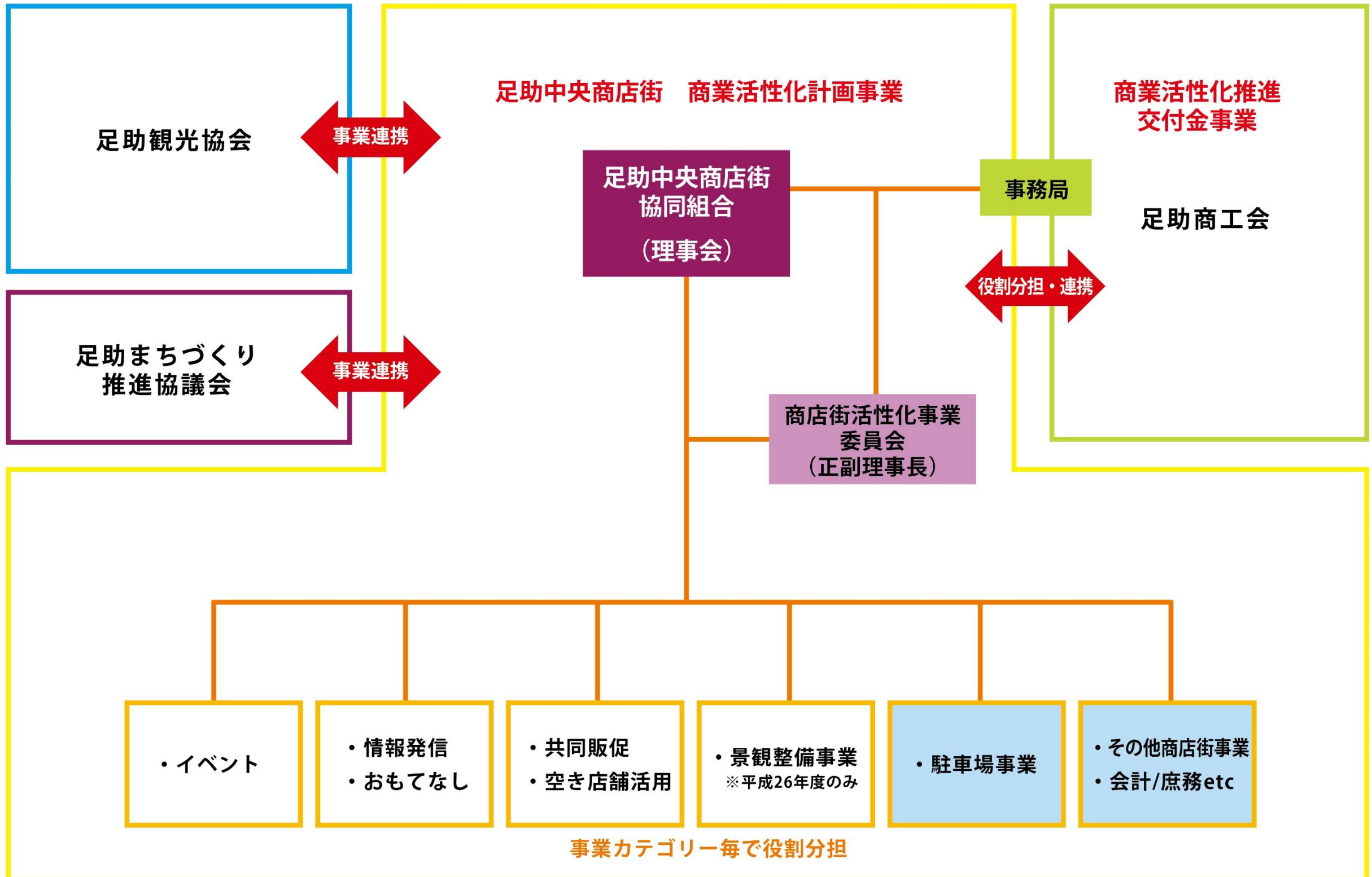
目標内容	指標・目標数値	備考
①足助地区商業の魅力向上	空き店舗 1店舗解消	足助商工会の空き店舗活用事業と連携。
②観光資源や街並みを活用した回遊性の向上	歩行者通行量の2%増加 H25年7,669人→ H28年7,822人	調査地点：3地点（足助商工会/郵便局/J Aあいち）の歩行者通行量 調査時期：繁忙期（香嵐溪紅葉シーズンピーク休日） ※H25年11月24日(日)/晴れ に実施した通行量と比較。
③商店街ニーズの向上	観光客（来訪者）の リピート意向の向上 など	スタンプラリー参加者へのアンケート調査にて、『また来たい』などの回答率の向上を目指す。また、毎月開催の中馬なごやか市では、日常客（地元客）を対象としたアンケートを実施。 ※調査初年度のため、平成26年度にアンケートを実施後、数値目標を再設定する。
④安心安全に買い物できる商店街	交通事故件数H25年12件→ H28年9件 犯罪件数 H25年10件→ H28年7件	年度毎に足助警察署へ確認。街路灯の新設・改修事業による夜間の安全性の向上と地域の防犯パトロールに商店街として積極的に参加することを推進する。

4. 第Ⅲ期 商店街活性化計画 事業一覧 (案)

(1)事業一覧

NO	新規 継続	事業 カテゴリー	事業名	平成26年度予算 (単位:千円 (税込))			内 容	実施時期		
				総事業費	自己 負担額	補助 金額		H26	H27	H28
1	6 年目	イベント	中馬なごやか市事業	3,758	1,559	市1,503 県696 国-	○中馬街道の交流拠点を活かした市を開催。足助地区内居住者の高齢化、買い物弱者の増加など 地元客への対応とともに、観光客の誘客も 図る。 ○平成25年度から始まった新たな取り組みである学生商店街を発展させ、賑わいづくりと売上げ向上を目指す。 ★ 日常客 (地元客) が多いため、商店街の地域ニーズを把握するアンケートを実施。	通年	通年	通年
2	7 年目		足助夏まつり事業	-	-	-	○夏祭りに合わせた組合事業を行う。	8月	8月	8月
3	新規	情報発信	町並みPR事業 (GWシーズン)	4,810	840	市- 県- 国3,970	○個店のPRと集客、回遊性向上と売上げ向上を目指し、スタンプラリーを実施。 お客さん (主に観光客) とコミュニケーションができる楽しい商店街を目指す。 ○インフラ整備完了により町並みの景観が向上したことを町内外にPRするため、合わせて、案内パンフレットを配布する。 ○GWシーズンは、子どもをターゲットに集客イベントを同時開催し、相乗効果を図る。 ○紅葉シーズンの香嵐渓観光客を商店街に誘客するため、パンフを香嵐渓にて配布する。 ★ 参加者に観光客 (来訪者) ニーズを把握するアンケートを実施。	5月	5月	5月
4	4 年目		スタンプラリー事業 (紅葉シーズン)					11月	11月	11月
5	新規		中馬のおひなさんPR 事業					2月	2月	2月
6	2 年目		おかみさん会事業					随時	随時	随時
7	2 年目	共同販促	ポイントカード 推進事業	500	500	-	○事業PRにより、さらなる固定客 (日常客) の確保を促す。加盟店を増やし、売上拡大に結びつけ、 みんなが地域のために 参加できる道具にする。	通年	通年	通年
8	7 年目		年末売出事業	1,112	988	市124 県- 国-	○年末売出の集客 (日常客の利用促進) のため、商店街共同の年末セールを実施する。	12月	12月	12月
9	7 年目	空き店舗 活用	空き店舗 活用支援事業 ※商工会交付金事業と連携。	-	-	-	○空き店舗の改修や不足業種を誘致など、新規事業者の出店を促進し、 重伝建地区である町並みの価値を高め、商店街の連続性と活性化を図る。 ※豊田市補助 (事業費1/2・上限250万円) ○中山間地域定住対策の登録者373人中、足助地区への定住意向126人、どこでも125人。飲食店やサービス系の出店意向が多い→ 出店の誘致の際、登録者へのPRなどを検討。	通年	通年	通年
10	新規	景観整備 事業	街路灯 新設・改修事業	14,408	3,414	市2,100 県- 国8,894	○街路灯の改修・新設による修景で、 町並みの価値を高め集客につなげる。 ○高齢化が進む中、暗くなってからも 安全安心に地元客が買い物 ができるようにする。	通年	-	-
11	新規	おもてなし	足助の古い町並み ブランド化事業	432	303	市129 県- 国- 講師派遣は、全 国商店街支援セ ンター補助メ ニューを利用予定	○地域ブランドの考案により、香嵐渓に頼らない商店街の独自で観光誘客できる 魅力ある商店街を創出し、足助地区全体の価値の向上を目指す。 ○地域ブランドについての勉強会 (講師派遣やセミナーなど) や先進地への視察 ○足助の古い町並みを活かした地域ブランドの開発考案 → 足助の古い町並みのイメージのブランド化をポイントに考える → 住民や学生などと連携した地域ブランドの開発によりコミュニティも活性 ○足助の古い町並みブランドの情報発信の方法や展開 (イベントなど) の検討	通年 (勉強会・ 視察など)	通年 (研究会) ⇒ブランド開発	通年 (研究会) ⇒情報発信
- 合 計 -				25,020	7,604	市3,856 県696 国12,864				

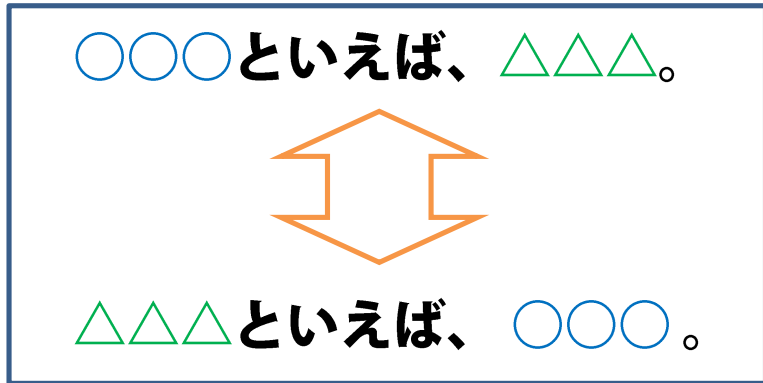
5. 足助中央商店街(協) 第Ⅲ期 商店街活性化計画 推進体制



6. 足助中央商店街(協) 会議記録 (第Ⅲ期商店街活性化計画づくり)

	時 期	内 容	出席者数	
第1回	平成25年 10月23日	◇第Ⅱ期（平成23～25年度）商店街活性化計画の取組み状況の整理 (1)各事業の取組み状況の確認 (2)各事業の成果と課題の整理 ◇第Ⅲ期 基本方針の検討 (1)足助中央商店街を取り巻くの現状の課題・問題点の整理 (2)基本方針（コンセプト・テーマ）などの検討	商店街 10人 足助商工会 2人 豊田まちづくり(株) 2人	
第2回 第3回	12月5日 平成26年 1月14日	◇第Ⅲ期 事業内容の検討 (1)既存事業の見直し(継続or見直し) (2)新規事業の検討 ※12/18・1/17、役員会にて、各事業における平成26年度の費用のシミュレーションや国への補助金などの申請のため、打ち合わせを実施。	第3回 商店街 9人 足助商工会 2人 豊田市商業観光課 1人 豊田まちづくり(株) 3人 第4回 商店街 7人 足助商工会 2人 豊田まちづくり(株) 3人	 
第4回	2月12日	◇第Ⅲ期 事業スケジュール・担当・予算の作成と数値目標の検討 (1)事業スケジュール・担当・予算の検討 (2)各事業における効果と数値目標の検討 ◇その他 確認事項など	商店街 5人 足助商工会 2人 豊田まちづくり(株) 3人	
	3月13日	★商業振興委員会		

○ブランドが確立している状態とは？



- 例)
- ・京都といえば、日本の古都 ⇔ 日本の古都といえば京都
 - ・豊田市といえば、トヨタ自動車 ⇔ トヨタ自動車といえば、豊田市
 - ・おかげ横丁といえば、伊勢 ⇔ 伊勢といえば、おかげ横丁
 - ・ロレックスといえば、高級時計 ⇔ 高級時計といえば、ロレックス etc

という相対的に連想ができ、それが消費者（ターゲット）に浸透して初めてブランドが確立したことになります。

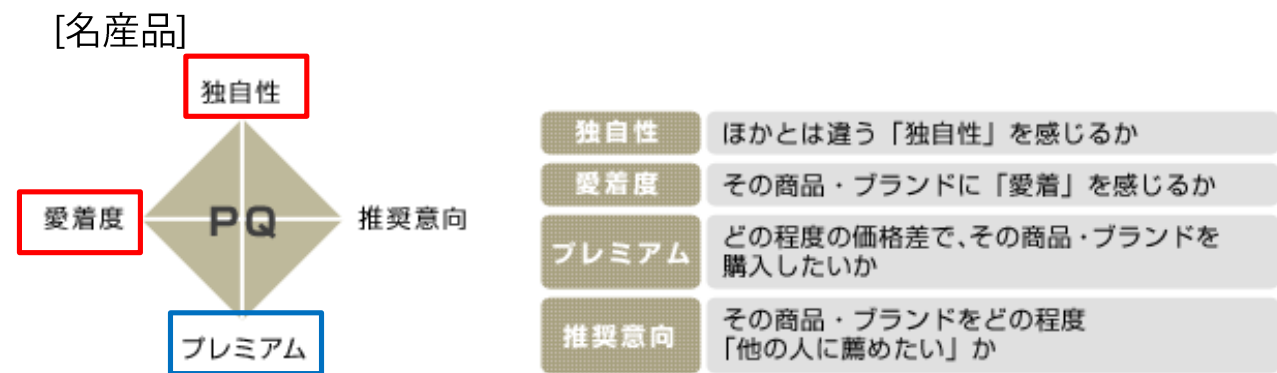
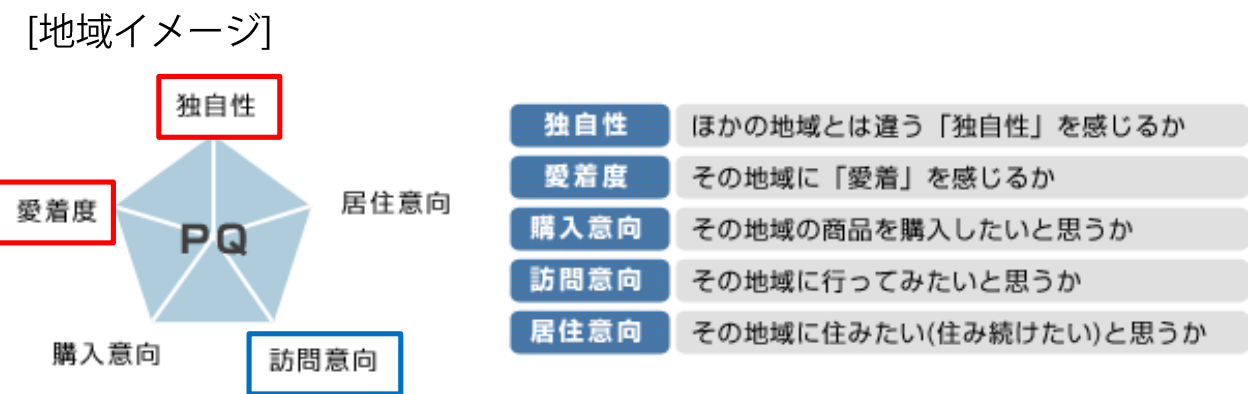
『足助』といえば、『香嵐溪』 ⇔ 『香嵐溪』といえば、『足助』
 は、全国的にもかなり浸透されたブランドとなっています。

○観光誘客は、地域ブランド（地域イメージ・名産品）を活用した情報発信のエリアが重要



“地域名”や“名産品”そのものは、遠くのターゲットまで届けられますが、ターゲットに来てもらうことが目的の観光の場合、地域ブランドを活用した情報発信が重要になります。
 限られた予算で、地域ブランドのイメージを効果的に発信するためには、発信エリアの設定がポイントになります。

○地域ブランド（地域イメージ・名産品）を開発・考案するときのポイント



○事例紹介

[岡山県真庭市勝山町 町並み保存地区 “のれん”によるまちづくり] 引用：(社)真庭観光連盟HPほか

各軒先をかざる暖簾の風景がこの町の一体感、そして人の温もりをしっかりと表現



古くは出雲街道の要衝として繁栄。土蔵はもちろん、白壁や格子窓の古い町並みが残ることから、昭和60年に岡山県発となる「町並み保存地区」に指定。昔ながらの酒蔵に、旧家、武家屋敷といったノスタルジックな建物に加え、古民家、蔵などを活用した工房、カフェ、ギャラリーなどが軒を連ね、歩くだけでも楽しい趣をかもし出している。

古きよき伝統を残しながらも、今の時代の新しいセンスも巧み取り入れる地域づくりは全国でもモデルケースとして注目を集め、観光客だけでなく、視察として訪れるグループも多数。文化の香りを伝えるとともに、各軒先をかざる暖簾の風景がこの町の一体感、そして人の温もりをしっかりと表現してくれている。

勝山の保存地区を歩くと、家々の軒先には意匠を凝らした色とりどりの「のれん」が掛かり、玄関に飾られた生け花、鉢物とともに訪れる人々を優しく迎えてくれる。こののれんの掛かった町並みが注目を浴び、訪れる観光客が増加し続けている。

現在、92軒の商店や民家が軒先ののれんを風になびかせており、1枚として同じデザインはない。また、同じ家が季節に合わせのれんを掛け替えるので、その数はもっと多く、これを一手につくっているのが草木染の染織家の加納容子さん。ひとりの作家が制作しているところに意味があり、多くのデザイナーが意匠を凝らして競い合ったり、既製品を買って掛けたりしたのでは、この様な趣のある風情はでなかった。



○事例紹介

[岐阜県中津川市馬籠 中山道木曾路馬籠宿]

引用：馬籠観光協会HP

ハイキングコースとして、昔の旅人気分で歴史と自然・森林浴を体験



旅人が歩いた坂道

中山道69宿のうち木曾谷には11の宿場が置かれており、馬籠宿は板橋を1番目とすると43番目。

街道が山の尾根に沿った急斜面を通っており、その両側に石垣を築いては屋敷を造っていることから「坂のある宿場」が特徴となっている。

また、街道筋には歴史を語る文学碑が随所に建っている。馬籠峠の正岡子規の句碑 妻籠から馬籠に向かって峠を上り切ったところの茶屋の脇に「白雲や青葉若葉の三十里 子規」の句碑がある。

『かけはしや 命をからむ つたかづら』 by 芭蕉

句碑



あかり街道まつり



藤村記念館



中山道ハイキングコース



馬籠・妻籠間の完歩証明書



馬籠宿・妻籠宿共同企画で、馬籠宿から妻籠宿間の約8キロメートル（ゆっくり歩いても約3時間程）をハイキングコースとして、身軽な旅（荷物預かり）・完歩証明書の発行・ハイキング鈴貸し出し等を実施。

【その他：中津川 とりトマ丼】



中津川商工会議所では、中津川の食材を活かした名物料理の開発。2007年～2009年まで行った「創作中津川料理コンテスト」で合計219作品の作品の中の入賞作品をもとに名物料理としてとりトマ丼を開発。

- とりトマ丼ルール
- ①「中津川どり」を使う事。その他トマトと米を必ず使用する事
 - ②中津川どり、トマトの調理法は問わないが、どんぶり形式にする事（皿でもよい）
 - ③具材は中津川どり、トマト、米の他は自由とするが、食材はなるべく地元産の食材にこだわる
 - ④価格は、単品価格で1,000円以下（税抜き）

○事例紹介

[長野県塩尻市奈良井 中山道木曾路奈良井宿] 引用：奈良井宿観光協会HP

重伝建選定地区

奈良井宿は日本の庶民の歴史を現在によみがえらせ、日本人の郷愁と旅の心をくすぐる。



旧中山道の奈良井宿は、中山道沿いに町並みが形成され、旅籠の軒灯、千本格子など江戸時代の面影を色濃く残す約1kmにわたる日本最長の宿場。

中山道十一宿のうち北から2番目の難所で、鳥居峠を控えた宿場町。かつては街道を行き交う旅人で栄え、その様は「奈良井千軒」と謳われ木曾路一番の賑わいがあった。

奈良井宿保存の経過としては、近世の民家として高い評価を受けた中村邸の宿場外移設問題を契機に、身近な歴史的資産の再確認と継承・維持を目的とした官民学連携による町並み保存運動が、昭和43年に始まる。その後、国の伝統的建造物群保存地区制度を受けて刊行された「町並み保存対策調査報告書」に基づいて保存条例が施行され、昭和53年に国から重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。

この栄誉は、多くの人たちの奈良井の地域づくりにかける並々ならぬ熱意の記念碑ともいえ、選定後も、平成元年に国土交通大臣表彰の「手づくり郷土賞」、平成17年に「手づくり郷土大賞」、平成19年に「美しい日本の歴史的風土百選」、平成21年に社団法人日本観光協会「花の観光地づくり大賞」受賞など景観を生かした地域づくりに懸ける思いを続けている。

日本一の木曾路宿場街



木曾漆器



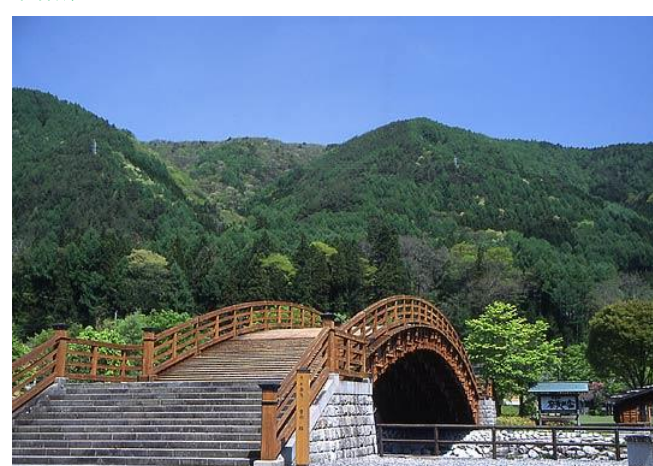
土人形



お茶壺道中



自然



- ◆まるで江戸時代にタイムスリップしたような情緒ある町並み。
- ◆木曾路の中で標高の高い奈良井宿は、自然も豊かで四季折々の風情を楽しめる。

奈良井宿オフィシャルグッズ



ヒノキ刷漆橋

日本てぬぐい

絵はがき

奈良井宿場祭(毎年6月第1金・土・日開催)のお茶壺道中。京都宇治から徳川家へ献上されるお茶が中山道を行列。本物の宿場街ならではの大名行列です。

【参考】足助地域ブランドづくりにおけるポイント

○事例紹介

[岐阜県美濃市 美濃和紙とうだつの上がる街並み]

重伝建
選定地区



美濃和紙ランプシェード

[石川県金沢市東山 ひがし茶屋街]

重伝建
選定地区



[広島県尾道市 小京都 尾道]



[兵庫県豊岡市出石町 但馬の小京都いずし]

重伝建
選定地区



出石皿そば

[全国の古い町並み一覧（199地区）]

※平成25年12月時点で重伝建認定地区は、106地区。

古い町並みが特徴の地域は全国にたくさんある！

北海道

- 古い町並み 函館市元町末広町
- 古い町並み 江差いにしえ街道
- 古い町並み 松前

青森県

- 小京都 弘前 (小京都)
- 古い町並み 弘前仲町
- 古い町並み 黒石市中町 (仲町こみせ通り)
- 古い町並み こみせ通り

岩手県

- 小京都 遠野 (小京都)
- 古い町並み 金ヶ崎町城内諏訪小路

宮城県

- 小京都 岩出山 (小京都)
- 小京都 村田 (小京都)

秋田県

- 小京都 角館 (小京都)
- 小京都 湯沢 (小京都)
- 古い町並み 角館

山形県

- 小京都 山形 (小京都)
- 古い町並み 上山の武家屋敷通り
- 古い町並み 酒田

福島県

- 古い町並み 下郷大内宿
- 古い町並み 南会津町前沢集落
- 古い町並み 蔵のまち喜多方
- 古い町並み 会津若松

茨城県

- 小京都 古河 (小京都)
- 古い町並み 桜川市真壁

栃木県

- 小京都 足利 (小京都)
- 小京都 佐野 (小京都)
- 小京都 栃木 (小京都)
- 小江戸 栃木 (小江戸)
- 古い町並み 栃木市轟右衛門町

群馬県

- 古い町並み 桐生市桐生新町
- 古い町並み 中之条町六合赤岩
- 古い町並み 伊香保温泉の石段街
- 古い町並み 小幡

埼玉県

- 小京都 嵐山 (小京都)
- 古い町並み 小川 (小京都)
- 小江戸 川越 (小江戸)
- 古い町並み 川越

千葉県

- 小江戸 香取市佐原 (小江戸)
- 小江戸 大多喜 (小江戸)
- 古い町並み 香取市佐原

神奈川県

- 小京都 湯河原 (小京都)
- 小江戸 厚木 (小江戸)
- 古い町並み 鎌倉

新潟県

- 小京都 加茂 (小京都)
- 古い町並み 佐渡市宿根木
- 古い町並み 秋山郷

富山県

- 小京都 城端 (小京都)
- 小京都 高岡 (小京都)
- 古い町並み 高岡市山町筋
- 古い町並み 高岡市金屋街
- 古い町並み 越中五箇山相倉集落
- 古い町並み 越中五箇山菅沼集落

石川県

- 古い町並み ひがし茶屋街
- 古い町並み 主計町茶屋街
- 古い町並み 卯辰山山麓寺院群
- 古い町並み 金沢寺町寺院群
- 古い町並み 輪島市黒島地区
- 古い町並み 加賀市加賀橋立
- 古い町並み 加賀市加賀東谷
- 古い町並み 白山市白峰

福井県

- 小京都 小浜 (小京都)
- 小京都 大野 (小京都)
- 古い町並み 小浜市小浜西組
- 古い町並み 若狭町熊川宿

山梨県

- 古い町並み 早川町赤沢

長野県

- 小京都 飯山 (小京都)
- 古い町並み 塩尻市奈良井宿
- 古い町並み 塩尻市木曾平沢
- 古い町並み 東御市海野宿
- 古い町並み 南木曾町妻籠宿
- 古い町並み 白馬村青鬼
- 古い町並み 松本中町・繩手通り
- 古い町並み 中山道福島宿
- 古い町並み 下栗の里
- 古い町並み 旧北国街道 柳町の通り
- 古い町並み 高遠
- 古い町並み 小布施 (おぶせ)

岐阜県

- 小京都 都上八幡 (小京都)
- 古い町並み 高山市三町
- 古い町並み 高山市下二之町大新町
- 古い町並み 美濃のうだつの上がる町並み
- 古い町並み 恵那市岩村町本通り
- 古い町並み 郡上市都上八幡北町
- 古い町並み 白川郷合掌造り集落
- 古い町並み 飛騨吉川の瀬戸川と白壁土蔵街
- 古い町並み 中山道馬籠宿

静岡県

- 小京都 森町 (小京都)
- 古い町並み 松崎のなまこ壁
- 古い町並み 掛川
- 古い町並み 修善寺

愛知県

- 小京都 西尾 (小京都)
- 古い町並み 豊田市足助
- 古い町並み 西尾

三重県

- 小京都 伊賀上野 (小京都)
- 古い町並み 亀山市関宿
- 古い町並み おかげ横丁
- 古い町並み おはらい町
- 古い町並み 河崎

滋賀県

- 小京都 大津 (小京都)
- 小江戸 彦根 (小江戸)
- 古い町並み 大津市坂本
- 古い町並み 近江八幡市八幡
- 古い町並み 東近江市五箇荘金堂
- 古い町並み 黒壁スクエア
- 古い町並み 海津
- 古い町並み 長浜

京都府

- 小京都 亀岡 (小京都)
- 古い町並み 京都市上賀茂 (社家の町)
- 古い町並み 京都市産寧坂
- 古い町並み 京都市祇園新橋
- 古い町並み 京都市嵯峨鳥居本
- 古い町並み 南丹市美山町 北かやぶきの里
- 古い町並み 伊根町伊根浦
- 古い町並み 与謝野町加悦 (ちりめん街道)
- 古い町並み 伏見酒蔵の町並み
- 古い町並み 嵐山・嵯峨野
- 古い町並み 花見小路通り
- 古い町並み 先斗町・木屋町

大阪府

- 古い町並み 富田林寺内町

兵庫県

- 小京都 篠山 (小京都)
- 小京都 出石 (小京都)
- 小京都 龍野 (小京都)
- 古い町並み 神戸市北野町山本通 (北野異人館街)
- 古い町並み 出石
- 古い町並み 篠山
- 古い町並み 篠山市福住
- 古い町並み 篠山市河原町妻入商家群

奈良県

- 古い町並み 橿原市今井町
- 古い町並み 五條市五條新町
- 古い町並み 宇陀市松山

和歌山県

- 古い町並み 湯浅町湯浅

鳥取県

- 小京都 倉吉 (小京都)
- 古い町並み 倉吉市吹吹玉川

島根県

- 小京都 松江 (小京都)
- 小京都 津和野 (小京都)
- 古い町並み 大田市大森銀山
- 古い町並み 大田市温泉津

岡山県

- 小京都 津山 (小京都)
- 小京都 高梁 (小京都)
- 古い町並み 倉敷美観地区
- 古い町並み 高梁市吹屋
- 古い町並み 高梁市船屋川美観地区
- 古い町並み 城東町並保存地区
- 古い町並み 勝山
- 古い町並み 足守の町並み

広島県

- 小京都 尾道 (小京都)
- 古い町並み 呉市豊御手洗
- 古い町並み 竹原

山口県

- 小京都 山口 (小京都)
- 小京都 萩 (小京都)
- 古い町並み 萩市堀内地区
- 古い町並み 萩市平安古地区
- 古い町並み 萩市浜崎
- 古い町並み 萩市佐々木市
- 古い町並み 柳井白壁の町並み

徳島県

- 古い町並み 美馬市脇町のうだつ町並み
- 古い町並み 三好市東祖谷山村落合

香川県

- 古い町並み 丸亀市笠島集落

愛媛県

- 小京都 大洲 (小京都)
- 古い町並み 西予市卯之町
- 古い町並み 内子
- 古い町並み 三津の町並み

高知県

- 小京都 中村 (小京都)
- 小京都 安芸 (小京都)
- 古い町並み 吉良川
- 古い町並み 安芸

福岡県

- 小京都 朝倉秋月 (小京都)
- 古い町並み 八女市八女福島
- 古い町並み 八女市黒木
- 古い町並み 筑後吉井
- 古い町並み ほうきは市新川田籠
- 古い町並み 朝倉秋月
- 古い町並み 門司港レトロ地区

佐賀県

- 小京都 小城 (小京都)
- 小京都 伊万里 (小京都)
- 古い町並み 浜津町浜金屋町 (肥前浜宿)

長崎県

- 古い町並み 長崎市東山手洋風住宅群
- 古い町並み 長崎市南山手
- 古い町並み 平戸市大島村神浦
- 古い町並み 雲仙市神代小路

熊本県

- 小京都 人吉 (小京都)
- 小京都 山鹿 (小京都)
- 古い町並み 三角西港

大分県

- 小京都 日田 (小京都)
- 小京都 杵築 (小京都)
- 小京都 日南餃肥 (小京都)
- 古い町並み 日田豆田町
- 古い町並み 竹田市殿町武家屋敷通り
- 古い町並み 小瀬田焼の里

宮崎県

- 古い町並み 日南餃肥
- 古い町並み 日向市美々津
- 古い町並み 椎葉村十根川

鹿児島県

- 小京都 知覧 (小京都)
- 古い町並み 出水藩武家屋敷群
- 古い町並み 薩摩川内市入来籠
- 古い町並み 知覧

沖縄県

- 古い町並み 竹富島の集落



お茶と和菓子



尾道ラーメン

足助地域ブランド化に向けた展開（案）

香嵐溪以外の新たな「足助地域のイメージ」をブランド化し、「足助地域全体」の価値や魅力の向上を目指す。

▶ 名産品は、地域イメージのブランド化の波及効果として発展させる

